



# 学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

令和3年1月7日

<1月号>



## 2021年、丑年がスタート

校長 後藤 修治

明けましておめでとうございます。新しい年、2021年がスタートしました。この年末年始は、例年になく寒くて雪も多く、また、新型コロナウイルスの影響もあり、ご家族でゆっくり過ごされた方が多かったのではないのでしょうか。去年は、保護者・地域の皆様からたくさんのお力添えをいただき、学校を支えていただきました。ありがとうございました。本年もどうぞ、よろしく願いいたします。

さて、令和2年度3学期がスタートしました。冬休みを終え、寒さを吹き飛ばす子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。本日の始業式では、子どもたちに次のようなお話をしました。

元日の朝（元旦）は新しい年の始まり。皆さんは、どんな元旦を迎えましたか。「一年の計は元旦にあり」と言います。「一年の始めに計画や目標をしっかりとちましよう」「何事も始めが肝心・大事」という意味のことわざです。今、各学年の代表の人から新年の決意、3学期の目標を発表してもらいました。新たな気持ちで、がんばるぞという決意が伝わってきました。代表以外の人たちも、一人ひとり目標をもっていると思います。「3学期の計は始業式にあり」です。みんなが目標に向かって突き進んでくれることを期待しています。

今年（牛）年です。牛は、昔から食牛、乳牛、耕牛とって食生活や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前触れ（芽が出る）」を表す年とされています。まだまだ新型コロナウイルスによる我慢の年は続きそうですが、光が見える年、芽が出る年、発展・成長の年とも言えます。

皆さんにとって成長・発展の年、明るい年となることを祈っています。



3学期は52日と短いですが、昨年は一斉休校があり、もっと短かったですね。3学期は、学年の「仕上げ」と次の学年へ「準備」の時期です。6年生は、いよいよ中学生です。よしいつ子の最後の仕上げですね。5年生は、6年生のいいところをいっぱい見て最上級生になる心の準備をしてください。4年生、3年生、2年生は、特に勉強面で苦手なところ、わからないところを3学期のうちにできるようにしてください。1年生は、あいさつやお話の聞き方など、新入生にお手本を見せられるようにしてください。

そのために「どう過ごせばいいか」二つヒントを教えます。

一つ目は、「一つをやりきる」です。苦手なことや、先生やお家の人からいつも言われていることなど何でもいいです。一つのことをとことん、継続してやってみましょう。

二つ目は、「感謝、ありがとう」です。みなさんは、昨年新型コロナウイルスの影響で、いろいろな活動が制限されました。でも、できたことへの感謝、協力してくれた方への感謝の気持ちを持ち、それを「ありがとう」の言葉や態度で伝えることができました。今年も「ありがとう」の気持ちをたくさんもち、「ありがとう」をたくさん伝えられるようにしましょう。